

Unified Functional Testing インストール・クイックスタート・シート

このシートは、Unified Functional Testing (UFT) の基本インストールを実行する手順を説明しています。UFT インストールのすべての要素に関する完全な詳細は、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』にあります。

インストールは、DVD または Web 用圧縮パッケージから実行されます。各インストール・パッケージの詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。

インストールを実行すると、Run Results Viewer も自動的にマシンにインストールされます。

インストールの前に

- **アップグレード**: QuickTest または Service Test から移行する場合は、旧バージョンの QuickTest または Service Test をアンインストールしてから、UFT をインストールする必要があります。UFT の以前のバージョンからアップグレードする場合は、インストーラが以前のバージョンを自動的にアンインストールし、新バージョンを再インストールします。
- **サイレント・インストール**: UFT は、MSI サイレント・インストール・メカニズムをサポートしています。詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。

インストール手順

1. 前提条件

- UFT をインストールするドライブに対する管理者権限があることを確認してください (ドライブは、ローカルドライブであることが必要です)。インストール時に問題が発生した場合は、ほかの Windows 設定の調整が必要なこともあります。『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』の「必要なアクセス権限の設定」の項を参照してください。
- サポートされているバージョンの Internet Explorer がインストールされていることを確認してください。システム要件の詳細については、『HP Unified Functional Testing Readme』を参照してください。
- 使用するライセンスの種類を確認しておいてください。コンカレント・ライセンスを使用する場合は、ライセンス・サーバ URL を用意してください。
- GUI テストに対して使用するアドインを確認しておいてください。使用するアドインのみをインストールすることをお勧めします。
- Service Test または旧バージョンの UFT で作成されたテストを実行する予定の場合は、.NET Framework 3.5、WSE 2.0 SP3 パッケージ、WSE 3.0 パッケージがコンピュータにインストールされている必要があります。

これらの前提ソフトウェアは、UFT インストールでは提供されません。これらがコンピュータにインストールされていない場合は、DVD の次の場所からインストールできます。

- **NET 3.5 Framework:** DVD/prerequisites/dotnet35_1/donetfx35_sp1.exe
- **WSE 2.0 sp3:** DVD/prerequisites/wse20sp3/MicrosoftWSE2.0SP3Runtime.msi
- **WSE 3.0:** DVD/prerequisites/wse30/MicrosoftWSE3.0Runtime.msi

2. インストールを開始します。

起動画面が開いたら、[**Unified Functional Testing のセットアップ**]を選択します (起動画面が自動的に実行されない場合は、コマンド・ウィンドウで次のパスを入力します: <DVD ドライブ /setup.exe)。

3. 画面の指示に従ってください。

インストールの前に

[カスタム セットアップ] 画面

- UFT Add-in for ALM をインストールの一環としてインストールする場合は、[**ALM Plugin**]オプションを選択します。
- 英語以外のマシンに UFT をインストールする場合は、UFT のインストールをオペレーティング・システムの言語で行うか、英語で行うかを選択します。

UFT 設定画面

使用しているネットワークで特別な DCOM 設定が必要な場合は、[**ALM 統合用の DCOM 設定**]オプションと[**オートメーション スクリプト用の DCOM 設定**]オプションをクリアします。DCOM 設定の手動構成の詳細については、『HP Unified Functional Testing インストール・ガイド』を参照してください。

インストール後

Web 2.0 アドインをインストールする場合、インストール・ウィザードの完了後に追加のインストールを実行する必要があります。このインストールは、<UFT インストール・フォルダ >\Installations\Web2AddinSetup にあります。